

主催者挨拶

(公社)全国漁港漁場協会

会長 田中 潤児

第六十四回全国漁港漁場大会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

はじめに、台風26号により、犠牲となられた方に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様方にお見舞いを申し上げます。

本日は、台風26号が接近しているなか、全国から多くの皆さんにご参加いただき、ご参加を頂き、ご参加を感謝申し上げます。

特に、公務が多忙のなか、小里泰弘農林水産大臣政務官、山本公一衆議院議員（自由民主党水産基本政策小委員会委員長）、宇賀神義宣水産庁漁港整備部長、白須敬朗大日本水産協会会長そして房奇樹韓国漁村漁港協理



理事長始め多くの来賓のご臨席を賜われ、盛大な大会を開催出来ますことは、主催者として、誠に光栄に存じております。

また、本大会の開催にあたり、中畑保一愛媛県漁港漁場協会会長を始めとする愛媛県、愛媛県漁港漁場協会、愛媛県漁業協同組合連合会そして関係市町の皆様には大変お世話になります。皆様の御協力により、漁港の整備が本格的に推進されるようになってから60年以上経過いたしました。これまでの関係者のご努力により、漁港の整備は量的にはある程度水準に達しました。あわせて漁場や漁村の整備も行われてきました。こ

れも日本の水産業、漁村が、国民の皆さんに安全・安心で良質な水産物を安定的に提供するだけでなく、沿岸域の環境の保全、国境監視など多面に亘る重要な役割を果たしているからであります。

しかしながら、資源状況の悪化、漁業の担い手の減少・高齢化などに加え、原油価格の高騰、水産物価格の長期低迷など水産業、漁村を巡る環境は一段と厳しくなっております。

また、地震・津波による大規模災害の発生が懸念されており、自然災害に対して脆弱な漁村地域の防災・危機管理対策も重要な課題となっております。

こうしたなかで、水産業を魅力ある産業として次世代に伝え、漁村を豊かで安心して暮らせる場とするためには、東日本大震災からの復興・復興とともに、国土強靱化に資するため、漁港施設等の防災・減災対策や

長寿命化対策、水産物の安定的な提供・国際化に対応できる力強い水産業を育む水産環境整備による水産資源回復対策などの推進が益々重要となっております。

併せて我々も、水産業や漁村の声が着実に政策に反映されるよう提言等の活動を積極的に進め、水産業、漁村の重要な役割について国民の皆さんの理解と支持を深めるための啓発普及活動や漁村活性化、環境保全などの課題に積極的に取り組む、安心して漁業を営み生活が出来る漁港、漁場を漁村を目指していかなくてはなりません。

特に、必要な施策が講じられるように本日の大会で議論される内容や取り組みの重要性について各方面に強力に訴えていく必要があります。

ここにお集まりの皆様は、日頃から水産業、漁村の発展に大変ご努力されておられます。日本の水産業が魅力ある産業として大いに発展し、将来に希望が持てる豊かな漁村が実現することを目指して、皆様の一層の団結とご尽力をお願い申し上げます。開会の挨拶と致します。

ありがとうございました。

祝辞

農林水産大臣政務官

小里 泰弘

本日ここに、全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本大会は、漁港・漁場・漁村の総合的整備と漁港の合理的



利用の促進を目的として開催され、昭和24年の第1回大会以来、本年度で64回を迎えることとなりました。この間の関係者の方々の多大なる貢献に対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、近年、我が国の水産業は、漁業者の減少・高齢化や原油価格の高止まりなど、厳しい状況にあります。漁業用燃

油の高騰対策として、本日御臨席の自民党水産基本政策小委員会委員長の山本公一先生をはじめ諸先生の御指導の下進めて参りましたが、更に本年6月に「漁業用燃油緊急特別対策」

を御決議いただき、がんばる漁業者に一層の支援を行っていただくこととしております。

また、更なる課題として、東日本大震災の被災地の水産業の復興と、近い将来の南海トラフ巨大地震等の地震・津波への備えも喫緊の対応が求められています。

このような厳しい状況であるからこそ、今一度、漁港及び漁場の役割や重要性を再認識する必要があります。皆様御案内のとおり、漁港は、漁獲物の陸揚げ等に

通、販売、加工、貯蔵と支える多くの役割を担っています。また、漁場は、漁業活動の場、かつ、水産物の生育の場と重要な役割を担っています。その整備等を促進することで、これからの水産業を支えることが出来るようになります。農林水産省の施策としては、水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画に基づき、被災地の一日も早い復興・復興と全国の漁港・漁村の防災・減災対策及び漁港施設の老朽化対策を推進します。

また、攻めの農林水産業の展開のため、流通拠点漁港における衛生管理対策、水域環境等の漁場整備、水産業・漁村の多面的機能の発揮といった施策を重点的に展開しているところであります。来年度においては、浜ごとの特性、資源状況等を踏まえた漁業収入向上のための実施プランである「浜の活力再生プラン」の策定を支援したいと考えています。

結びに、本大会の成功と、我が国水産業の益々の発展、並びに本日御出席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

祝辞

衆議院議員 (自由民主党水産基本政策小委員会委員長、漁港漁場整備促進議員連盟副理事長)

山本 公一

第64回全国漁港漁場大会が愛媛県で開催され、心からお祝いを申し上げます。

私は自由民主党の水産政策の責任者の一人を勤めており、また愛媛県は私の地元であります。そのような立場から一言お祝いを申し上げます。

日本の水産業を取り巻く環境は様々な課題が山積しており、大変厳しい状況にあります。考えますと、日本は島国であり、海洋国家であり、海とつながってきた民族であることは間違いありません。

そのような中で、2年半前に東北で大震災から進めていかねばならないと考えています。水産業にとっての母なる漁港・漁村が整備されてこそ、日本という国がもつ一度蘇ってくるという強い信念の

とに自由民主党は諸政策を進めていきます。燃油の高止まりの対策について、いませーファイターネットワークがほぼ順調に推移はしていますが、更なる燃油対策を6月に約束させて頂きました。

その実現に向けて、おおよそ骨組みが固まっております。必ずや皆様のご期待に添えるような燃油対策が充実していくものと考えています。

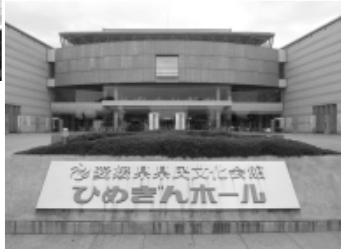
本日の大会を契機に、全国の水産業が立ち直っていくことを期待し、皆様の一層のご尽力をお願いし、私からのお祝いの言葉に代えたいと思います。本日は有難うございました。



関係者1700人が勢ぞろいした大会会場の様子(左)、会場となった「ひめぎんホール」の外観(下)



関係者1700人が勢ぞろいした大会会場の様子(左)、会場となった「ひめぎんホール」の外観(下)



ホールでは愛媛県のイメージキャラクター「みきやん」がお出迎え(左)

祝辞 (一社) 大日本水産会 会長 白須 敏朗



大日本水産会の白須でございます。第64回全国漁港漁場大会の愛媛県での開催、誠にありがとうございます。私どもが携わっている水産物の使命は何だろうかと思えます。それは国民の皆さんに対する水産物の安定供給が第一と考えます。安定供給の基礎を支えているのは、全国からお集まりの漁港漁場の関係の皆様方です。皆様方のご努力がなければこそ、水産業が成り立ち、消費者に水産物の安定供給ができて、さらに漁村の活性化あるいは漁村集落の維持が成り立つてまいります。世界の水産物の需給状況を見ると、世界はまさに魚食ブームであり、水産物需要はうなぎ登りに上がっているのです。残念ながら日本のみは魚離れで日本の水産物の消費は減少してまいりました。その結果、日本は世界一の魚食民族の座をポルトガル、韓国に追い越され、世界第三位の魚食民族になってしまいました。

水産業界として、水産資源を維持回復させ、安全安心で高品質な水産物を安定的に消費者に提供していく努力を怠りません。

高度の衛生管理に対応した漁港の整備をしていかなくは、流通拠点としての漁港の役割は高まらないのであります。また、ご当地愛媛県は日本の養殖生産県であります。これからは環境にやさしく、生態系に配慮した持続的な養殖生産が求められます。それに対応した漁場整備が大変重要になってまいります。これからの水産業の発展のために皆様と一緒に全力を尽くす所存であります。本日は有難うございました。

祝辞 衆議院農林水産委員長 ～メッセージ～ 坂本 哲志

「第六十四回全国漁港漁場大会」の開催を心からお慶び申し上げます。

本日ご出席の皆様をはじめ、日頃より漁港・漁場・漁村の整備の推進に格段のご尽力をいたしておられます関係各位に対し、衆議院農林水産委員会を代表して、深甚なる敬意を表します。

我が国の水産業・漁村をめぐる情勢が極めて厳しい中、東日本大震災からの本格的な復興と、全国的な漁港・漁村の防災・減災対策を推進することが喫緊の課題となっております。

また、日本再興戦略に基づき水産業を成長産業とするため、水産物の輸出促進を図るための輸出入における高度衛生管理対策や、水産資源

の安定確保を図るための漁場整備を推進していくことが必要とされております。

このようなとき、全国の漁港・漁場・漁村の関係者が一堂に会され、水産業・漁村の活性化の推進等に向けて、決意を新たにされますことは、まことに意義深いものがあります。

私も衆議院農林水産委員会として、皆様方の

ご意思を体し、震災からの一日も早い復興と、水産業・漁村の再生のために、活発な議論を展開し、豊かで活力のある漁港・漁場・漁村の実現を図られるよう、全力を傾注してまいります。

最後に、本大会のご成功と皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

祝辞 参議院農林水産委員長 ～メッセージ～ 野村 哲郎

第64回全国漁港漁場大会の開催、おめでとうございます。

本日ご出席の皆様をはじめ、漁港・漁場・漁村の整備に日頃よりご尽力を頂いております関係者の方々に対し、心より敬意を表し、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

昨年度から第3次漁港漁場整備長期計画がスタートしましたが、東日本大震災で被災した漁港・漁村の早期復

し、心より敬意を表し、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

昨年度から第3次漁港漁場整備長期計画がスタートしましたが、東日本大震災で被災した漁港・漁村の早期復

興とともに、全国の漁港・漁村の防災・減災対策の推進が目の下の最重要課題であります。また、世界的に水産物の需要が高まるなか、我が国が高品質の水産物を積極的に海外に輸出していくためには、漁港等の水産基盤整備や衛生管理対策等、本腰を入れて取り組む必要があります。

さらに、資源管理・漁業経営安定対策等の取組と連携して、水産動物物の生態環境の改善や良好な漁場の整備を行い、持続的な水産業振興を図っていくことが求められております。

本日は、全国より、浜を熟知しておられる皆様一堂に会され、水産基盤整備についての意見集約が行われると伺っております。私は、皆様のご提言を踏まえ、よりよい漁港・漁場・漁村の建設のため、政府に要請するとともに、国会において活発かつ有意義な議論が行われるよう、全力で取り組んでまいります。

最後に、本大会のご成功と、皆様方のご健康・ご活躍をお祈り申し上げます。

歓迎のごとは

愛媛県知事 中村 時広



本日、第64回全国漁港漁場大会がこのように盛大に開催されますことを、お喜び申し上げます。また、昭和48年の第25回大会以来40年ぶりに、全国各地から漁港漁場関係者の皆様をお迎えできましたことを、大変うれしく存じます。ともに、心から歓迎いたします。

皆様方におかれましては、日頃から、水産基盤整備をはじめとする漁港漁場事業の促進など、水産行政の推進に格別の御理解と御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

さて、愛媛県は、三方を海で囲まれており、日本一長い半島とある佐田岬半島を境として、多島美の瀬戸内海とリアス式海岸の宇和島に分かれ、美しい景観と豊かな漁場を形成しており、全国でも有数の水産県として発展を続けてきました。

しかしながら、近年、販売価格の低迷や水産資源の減少など、水産業を取り巻く環境が厳しさを増す中、本県では、平成23年3月に策定した「水産えひめ振興プラン」のもと、「水産えひめの再生」を目的として、「愛育フィッシュ」のフェアを計画するなど、引き続き、本県の多彩な水産物のPRに努めて参りたいと考えています。

加えて、こうした取り組みを下さる上で、重要な役割を担う漁港漁場施設については、水揚げ作業の効率化を図るため、防波堤

や岸壁等の整備を着実に進めるほか、近い将来に発生が懸念される南海トラフ地震に備え、地域の流通・生産拠点漁港を中心に耐震・耐津波強化に取り組んでおります。

このように、漁港漁場事業関係者の皆様、全国各地からのご愛媛に一堂に会し、事例発表を通じて活動状況を共有されるとともに、水産業の振興や漁村の活性化を目指し、意見や情報を交換されたいは幸いです。

深いつながりを、本大会の御成功と、公益社団法人全国漁港漁場協会のますますの御発展、並びに皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げます。

なほ、御来県の皆様には、せつかくの機会

は、皆様のご提言を踏まえ、よりよい漁港・漁場・漁村の建設のため、政府に要請するとともに、国会において活発かつ有意義な議論が行われるよう、全力で取り組んでまいります。

最後に、本大会のご成功と、皆様方のご健康・ご活躍をお祈り申し上げます。

ですので、日本最古と言われる道後温泉や松山城、内子・大洲・宇和の歴史ある町並み、自転車での旅を楽しむことができる瀬戸内しまなみ海道に足を運んでいただくとともに、県産の魚であるマダイをはじめとした全国に誇れる水産物や、生産量日本一のかんきつといった愛媛ならではの産品も御賞味ください。秋を迎えた伊予路の魅力を活かしていただければ幸いです。

終わりに、本大会の御成功と、公益社団法人全国漁港漁場協会のますますの御発展、並びに皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げます。

提案理由説明

山口県漁港漁場協会 会長 野村 興兒



ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

ただいまご紹介いたしたまいました。山口県漁港漁場協会会長で、秋市長の野村興兒でございます。はじめに、夏からの豪雨被害等が続々と続いてありますが、去る10月16日の台風26号により、犠牲となられた方に対し、ま

八幡浜港振興ビジョンと水産業の振興

愛媛県八幡浜市長 大城 一郎



八幡浜漁港の新魚市場



八幡浜漁港は、国内有数の好漁場である豊後水道に面し、多様な水産資源に恵まれ、沖合底引き網漁業や沿岸漁業が盛んです。また、九州と四国を結ぶフェリーが1日20便就航しており、八幡浜市は、「みなと」を中心に発展してきました。

魚市場は、西日本有数の水揚げを誇り、流通拠点として重要な役割を果たしてきましたが、水揚げ施設、道の駅・流地施設、道の駅・みなとオアシス八幡浜など、整備しな

高の減少に加え、老朽化の増加による大型化や交通量の増加による作業性の悪化などの課題があります。そこで、「八幡浜港振興ビジョン」を策定し、漁港と港を一体的に整備し、一次産業と観光の振興により地域活性化を図ることにしました。

新魚市場は、消費者の安全・安心の要望にこたえるため高度衛生管理型とし、荷捌き・陳列エリア、出荷・仕立エリアを分離し、活水水槽、給水施設等を機能的に配置することにより作業効率の向上を図りました。

北海道西部、稚丹半島の西側に位置する神恵内村は、かつてシシトウ漁により栄え、大正元年に「海の砂漠化」とも呼ばれる磯焼けが進み、豊かな漁場だった前浜は

今後整備する水産加工場や加工場の支援なども合わせ、魚価や付加価値をアップしていきたいと考えています。

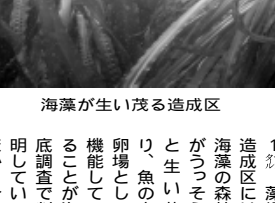
今後は、災害に強い安全な地域づくりの推進を進めるため、現在漁港施設の老朽化対策を

港があります。漁港は地先及び県外漁船の漁業生産基地、水産物流通拠点として整備され、水産と地域の発展に重要な役割を果たしてあります。

魅力ある水産業、豊かで安全な漁村の実現を

磯焼けの海を海藻の森林へ

北海道神恵内村長 高橋 昌幸



海藻が生い茂る造成区

1. 藻場造成区には海藻の森林がうっそうと生い茂り、魚の産卵場としての機能も果たしている。

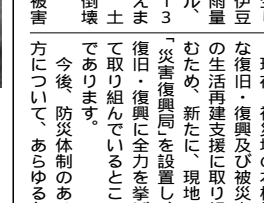
2. 藻場の造成により、魚の産卵場としての機能も果たしている。

3. 藻場の造成により、魚の産卵場としての機能も果たしている。

藻場の造成により、魚の産卵場としての機能も果たしている。

美波町の小規模点在漁村における津波対策の過去・現在・未来

徳島県美波町産業振興課長 小坂 進



高台への避難路

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

大規模な河川の氾濫、多数の土石流などが発生しました。このたびの伊豆が120ミリメートル、秋市では時間雨量は130ミリメートルを超え、土砂流により山側から倒壊しました。

現在、被災地の本格的な復興、復興及び被災者の生活再建支援に取り組むため、新たに、現地に「災害復興局」を設置し、復興に全力を挙げ取り組んでいるところでもあります。

今後、防災体制のあり方について、あらゆる角度から見直しを行い、災害に強い、住民が安心・安全に暮らせるまちづくりに向けて取り組む決意を込めて取り組んでまいります。

このように、山口県及び秋市の状況を踏まえ、世界的な水産物の高まりを捉え、世界に冠たる日本の水産物の輸出促進に果敢に挑戦していくことも重要であります。

我が国の水産業、漁村を取り巻く環境は、低水準にある水産資源、漁業の担い手の減少、高齢化などに加え、燃料等の価格高騰、消費者の魚離れや長引く不況による水産物価格の長期低迷により、益々厳しさを増しています。

このために我々は、安定的な生産を確保する漁業の強化が急がれており、漁村の防災、減災対策、長寿命化対策の推進

美波町の小規模点在漁村における津波対策の過去・現在・未来

徳島県美波町産業振興課長 小坂 進

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町の小規模点在漁村における津波対策の過去・現在・未来

徳島県美波町産業振興課長 小坂 進

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町の小規模点在漁村における津波対策の過去・現在・未来

徳島県美波町産業振興課長 小坂 進

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町の小規模点在漁村における津波対策の過去・現在・未来

徳島県美波町産業振興課長 小坂 進

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

美波町は、四国の右に位置する美波町(3,486世帯、7,660人)に

第64回全国漁港漁場大会祝電・メッセージ一覧(順不同、敬称略)

第64回全国漁港漁場大会出席来賓一覧(順不同、敬称略)

自由民主党総裁	安倍 晋三
自由民主党幹事長	石破 茂
衆議院議員	赤澤 亮正
衆議院議員	伊藤 忠彦
衆議院議員	大野 敬太郎
衆議院議員	勝俣 孝明
衆議院議員	金子 恭之
衆議院議員	神田 憲次
衆議院議員	北村 茂男
衆議院議員	國場 幸之助
衆議院議員	後藤田 正純
衆議院議員	小林 史明
衆議院議員	塩崎 恭久
衆議院議員	白石 徹
衆議院議員	瀬戸 隆一
衆議院議員	高鳥 修一
衆議院議員	西岡 新
衆議院議員	松本 純
衆議院議員	宮内 秀樹
衆議院議員	村上 誠一郎
衆議院議員	山本 有二
参議院議員	猪口 邦子
参議院議員	井原 巧
参議院議員	片山 さつき
参議院議員	北村 経夫
参議院議員	末松 信介
参議院議員	鶴保 庸介
参議院議員	馬場 成志
参議院議員	山崎 正昭
参議院議員	山田 修路
参議院議員	山田 俊男
参議院議員	山本 順三
全国離島振興協議会会長	白川 博一
(公社)日本水産資源保護協会会長	川本 省自

【農林水産省】	
農林水産大臣政務官	小里 泰弘
水産庁漁港漁場整備部長	宇賀神 義宣
水産庁漁港漁場整備部計画課計画官	清水 桂子
水産庁漁港漁場整備部整備課施工基準係長	渡邊 則仁
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課海岸班	廣中 渉太

【国会議員】	
衆議院議員 (自由民主党水産基本政策小委員会委員長) (漁港漁場漁村整備促進議員連盟副幹事長)	山本 公一

【団体】	
(一社)大日本水産会会長	白須 敏郎
(一社)全日本漁港建設協会会長	長野 章
(公社)全国豊かな海づくり推進協会専務理事	市村 隆紀
(一財)漁港漁場漁村総合研究所常務理事	大塚 敏行
(公財)漁船海難遺児育英会専務理事	鈴木 基之
漁港漁場新技術研究会会長	橋本 牧
韓国漁村漁港協会理事長	房 奇 嫻
韓国漁村漁港協会経営本部長	李 竣 豪
韓国漁村漁港協会漁場本部課長	金 珉 聖
韓国漁村漁港協会漁港本部代理	高 廷 昊

【愛媛県】	
愛媛県知事	中村 時広
愛媛県議会議長	竹田 祥一
愛媛県漁業協同組合連合会会長	河野 義光
愛媛県議会農林水産委員会委員長	鈴木 俊広
愛媛県議会農林水産委員会副委員長	中田 廣
愛媛県議会農林水産委員会委員	明比 昭治
愛媛県議会農林水産委員会委員	梶谷 大治
愛媛県議会農林水産委員会委員	笹岡 博之
愛媛県議会農林水産委員会委員	玉井 敏久
愛媛県農林水産部長	三好 晶夫
愛媛県農林水産部水産局長	倉田 正
愛媛県農林水産部水産局漁政課長	飯尾 智仁
愛媛県信用漁業協同組合連合会会長	高取 武則
愛媛県漁船保険組合組合長・愛媛県漁業共済組合組合長	堀田 順人
愛媛県漁業信用基金協会理事長	石橋 寛久
愛媛県漁協女性部連合会会長	喜田 ヒサ子

恒例 漁船海難遺児育英会の 募金活動も

全国漁港漁場大会は、漁船海難遺児育英会(理事長 鈴木俊一衆議院議員)が鈴木基之専務理事を先頭に、地元愛媛県漁連、愛媛県信漁連の女性職員らの協力を得て大会会場において募金活動を行った。

多くの参加者が募金活動に心え、大会が始まる頃には多くの参加者が胸に「水色の羽」を付けていた。

多くの参加者が募金



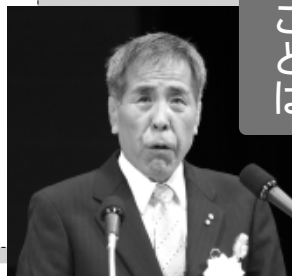
募金活動の様子。募金者の胸に「水色の羽根」をつける愛媛県信漁連の女性職員

開会の
ことば



清水雅文愛媛県漁港漁場協会の副会長(愛南町長)

閉会の
ことば



河野義光愛媛県漁港漁場協会理事(愛媛県漁連会長)

歓迎レセプション

大会前日の10月23日の午後5時30分から松山市の「松山全日空ホテル」において、愛媛県漁港漁場協会（公社）全国漁港漁場協会の共催で歓迎レセプションが開催された。

和太鼓ユニット「雷神」による「石鎚」のオープニング演奏に始まり、中畑保一愛媛県漁港漁場協会会長（愛媛県議会議長）が主催者を代表して挨拶、中村時広愛媛県知事が歓迎の挨拶を行

った。

山本公一衆議院議員、宇賀神義宣漁港整備部長及び房奇嶺特殊法人韓国漁村漁港協合理事長が来賓挨拶を行った後、竹田祥一愛媛県議会議長の発声で乾杯が行われた。

参加した関係者は、松山マドンナ大使のエスコートで愛媛の伝統踊りである野球拳踊りを楽しむなど和やかに歓談し、大会前日のひとときを楽しんだ。



歓迎挨拶をする中村時広愛媛県知事



挨拶をする山本公一衆議院議員



主催者挨拶をする愛媛県漁港漁場協会会長



挨拶をする宇賀神義宣漁港整備部長



乾杯の発声をする竹田祥一愛媛県議会議長



挨拶をする房奇嶺韓国漁村漁港協合理事長



歓談を楽しむ皆さん

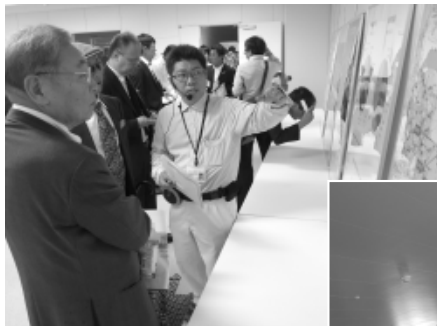


和太鼓「石鎚」の演奏



野球拳踊り

漁港視察



八幡浜漁港の説明



八幡浜漁港の新荷捌き所



八幡浜漁港でのじゃこてんの試食



会場での愛媛県物産の販売



会場での愛媛県物産の紹介

会場風景

入賞作品決定！

2013漁港漁場漁村海岸写真コンクール

(公社)全国漁港漁場協会
と全国漁港海岸防災協会の共
催(一財)漁港漁場漁村総合
研究所と(一社)水産土木建
設技術センターの協賛、水産
庁後援による2013漁港漁
場漁村海岸写真コンクールの
入賞作品が、第64回全国漁港
漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は
9月10日に行われ、入賞作品
は、パンフレットにまとめら
れて大会参加者に配布され
た。入賞作品は、特選1席(農
林水産大臣賞)1点、特選2
席(水産庁長官賞)1点、特
選3席(全国漁港漁場協会長
賞、全国漁港海岸防災協会

賞、漁港漁場漁村総合研究
所理事長賞、水産土木建設技
術センター理事長賞)各1点、
入選5点、佳作10点で、入賞
者は別表の通り。
なお、入賞作品は全国漁港
漁場協会のホームページに掲
載しています。



特選1席

農林水産大臣賞



特選2席

水産庁長官賞



特選3席

全国漁港漁場協会長賞



特選3席

全国漁港海岸防災協会賞



特選3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞

2013漁港漁場漁村海岸写真コンクール入賞者一覧

入賞	題名	氏名
特選1席	早春のイワノリ摘み	カマタ ヒサ(岩手県普代村)
特選2席	チリメンジャコ干し	大迫 文男(鹿児島県鹿児島市)
特選3席	ボクが押すよ!	浜口 正雄(三重県志摩市)
特選3席	博多っ娘	石村 國男(福岡県宗像市)
特選3席	昆布が広がる村	田原 勝人(北海道恵庭市)
特選3席	有明海の夕日	古賀 敏彦(福岡県久留米市)
入選	陰の力	滝沢 康幸(長野県須坂市)
入選	大漁の朝	平山 弘(和歌山県田辺市)
入選	出港を待つ	津田 憲幸(京都府舞鶴市)
入選	これでどう?	井上 知美(愛媛県大洲市)
入選	夢中	西野 悠(愛媛県大洲市)
佳作	祭の若者	米尾 暢人(神奈川県横浜市)
佳作	赤マンボウ	木下 滋(和歌山県白浜町)
佳作	光る海、いわきは元気	門林 泰志郎(福島県いわき市)
佳作	マグロの水揚げ	高木 志津夫(福島県いわき市)
佳作	豊漁を祈って	中村 昭夫(三重県四日市市)
佳作	漁を終えて	加藤 和弘(三重県津市)
佳作	昆布の浜	塚本 和男(神奈川県横浜須賀市)
佳作	晴れ姿	泉 健一(奈良県生駒市)
佳作	散りばむ星のごとく	斎藤 雄幸睦(岡山県岡山市)
佳作	漁港の少年	小澤 昌平(愛知県刈谷市)

特選3席

水産土木建設技術センター理事長賞



